

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例 No.12

区分 院内ラウンド

【質問】

院内ラウンドに関する具体的なチェック項目はどのようなものがあるでしょうか？

【回答】

通常、院内ラウンドでは、水回りの管理や感染性廃棄物の廃棄状況などの環境チェックのほか、標準予防策(手指衛生など)や感染経路別予防策(接触予防策など)の確認を行います。例えば、手指衛生の実施状況については、業務を観察して適切に実施されているか確認を行います。また、インフルエンザやノロウイルス感染症の流行期には、感染対策マニュアルの遵守状況の確認を行うなど、現場の感染対策の向上に役立つ内容を含めることが望ましいと考えられます。

なお、具体的なチェック項目としては、平成 24 年度診療報酬改定で新たに創設された感染防止対策地域連携加算のチェック項目表が参考になります。また、感染対策に関する雑誌などに掲載されていることもあります。

また、人員上すべての病棟を一度にラウンドすることが困難な場合は、部署を限定して行うことも方法の1つです。(例えば、通常検出されないような抗菌薬耐性菌が検出された場合は、その部署の感染対策を重点的に調査することなど。)

さらに、環境チェックなどは定期的に行うことが望ましく、その時期により適宜必要な項目を院内ラウンドに加えることも必要です。

《参考文献等》

- 1) 感染管理に関するツール集. 患者安全推進ジャーナル 2009 年別冊, 認定病院患者安全推進協議会, 2009
- 2) ICT ラウンド 現場へのベストアプローチ. 感染対策ICTジャーナル vol.6, ヴァンメディカル, 2011
- 3) 結果が出せる感染対策いちから始める実践プログラム. インфекションコントロール 2013 春季増刊号(通巻 245 号), メディカ出版, 2013 (P.170~185)